

2012年1月24日

報道関係者各位

No.-60106

株式会社 東陽テクニカ
東京都中央区八重洲1-1-6

東陽テクニカ、平成24年9月期第1四半期決算発表 売上高、前年同期比11.9%増

(株)東陽テクニカ（8151：東京都中央区 五味勝社長）は、本日（平成24年1月24日）午後2時、T D n e tにおいて平成24年9月期第1四半期の決算を発表しました。

概要

売上高、前年同期比11.9%増、経常利益は13.8%増

売上高は44億6千5百万円（前年同期比+11.9%）、営業利益は2億3千5百万円（前年同期比+11.4%）、経常利益は3億4千9百万円（前年同期比+13.8%）、四半期純利益は1億8千万円（前年同期比+2.3%）でした。

売上動向

輸入主要部門は堅調に推移

輸入売上高は42億2千4百万円で、前年同期比15.7%の増収、輸出売上高は2億4千1百万円で、前年同期比28.6%の減収でした。

物性測定、振動解析は堅調に推移して前年同期比増となりました。情報通信はほぼ前年並みの実績でしたが、EMCは市場回復の足取りが鈍く、前年同期比減となりました。その他の計測分野では海洋計測分野で新製品効果が表れ、前年同期比増となりました。一方、輸出は韓国向け輸出が減少しました。

受注動向

受注高、前年同期比14.3%増

当第1四半期（平成23年10月～12月）は、53億4千万円で前年同期比14.3%増となり、12月末時点での受注残は前年同期比10億円増加しました。

売上総利益率

当第1四半期(平成23年10月～12月)は前年同期比3.4%ポイント低下しました。これは、その他の計測分野における海洋計測関連で利益率の低い大型入札案件の納入が複数あったため、当四半期の特殊要因によるものです。なお、これらの案件を除いた売上総利益率は前年同期比0.2%ポイント上昇しています。また、当第一四半期の平均為替レートは対ドルで78円(前年同期84円)、対ユーロで106円(前年同期114円)でした。

経費

経費は17億円で、前年同期に比して2.9%の増加となりました。これは、昨年11月の当社単独の総合展示会「東陽ソリューションフェア2011」開催による増加分で、計画どおりであります。

連結対象子会社

特に重要な子会社はありません。

中間期ならびに通期予想

今回修正事項はありません。

中間期

売上高 115億円、営業利益 20億円、経常利益21.5億円、当期純利益 12.5億円

通期

売上高 210億円、営業利益 29.5億円、経常利益 32.5億円、当期純利益 18.5億円

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記まで

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室 ^(トトキ) 十時

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 E-Mail:totoki@toyo.co.jp